

取組のポイント

- ◆立田地区で集落営農等により生産している餅米等を主原料とし、地区内で生育等している野草（オオバコ、ヨモギ等）等を副原料とした日持ちする加工品の開発を行う。
- ◆地区内の小学校跡地を拠点として、自治会が中心となって、地区内住民が副原料等の栽培・加工・出荷等を行う体制をワークショップ形式での検討を重ねて構築している。

地区の概要

- ◆ 位置
三重県いなべ市藤原町



- ◆ 活用した地域資源
餅米、山野草
- ◆ 事業実施主体
立田地区活性化協議会

- ◆ 主な取組団体等
有限会社藤原ファーム
古田自治会、篠立自治会

- ◆ 事業実施期間
H30～R2

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆地域内にある果樹や野菜、木の実、野草薬草などの有用資源調査
- ◆ワークショップ等を通じて、有用資源を生産加工販売できる人材の育成及び組織作り



【野草加工のようす】

【野草畑（ヨモギ、オオバコ）のようす】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆六次産業化プランナー等の協力を得て、商品パッケージ等を検討
- ◆PR活動として、「第14回地方銀行フードセレクション2019」へ出展



【パッケージ検討のようす】



【出展のようす】

取組の成果

- ◆餅米、野草を活用した焼菓子の開発 0品（H30：取組前） → 13品（R2）
- ◆百貨店等における焼菓子等の販売額 0千円（H30：取組前） → 2,345千円（R2）
- ◆地区内事業者における新規雇用数 0人（H30：取組前） → 1人（R2）